



第252号

発行
 みちのく子ども療育センター
 みちのく・みどり学園
 もりおか子どもクリニック
 ことりさわ学園
 盛岡市上田字松屋敷 11-14
 ☎ (019)662-5696
 FAX 662-7185

退園式

——自主を考える——

社会福祉法人 岩手愛児会

会長 藤澤 昇

春3月巣立ちの季節。みちのく子ども療育センターでは第149回の退園式が挙行されます。まずは退園生やそのご家族の皆様方にこれまでの頑張りを称賛したいと思えます。

そしてそれを、このコロナ禍のなかでも（無償の行為で）支えて頂いた多くの地域の方々に心から御礼を申し上げます。

春3月巣立ちの季節。改めてこの「巣立ち」を辞書で調べてみました。巣立ちとは「子が親の養護を離れて独立し、または学業を終えて実社会にでること」（広辞苑）とありました。退園生の多くの皆さんも若者として「実社会」に出ることになります。

国は（厚生労働省）は児

童養護施設や里親で育つ若者の自立支援について、原則18歳（最長22歳）までの年齢上限撤廃を決めました。今までは18歳になったら独立立ち、つまりは自立が求められました。私は10年前に

ある子どものことで「施設がもっと関わりたい」と県の担当者に話したら「それは納税者が納得しない」と一蹴されたことがあります。自立と称して、自己責任を強要された

若者の自立（施設の子どもの）とは、そのおかれた環境の中で適度に依存しながらも自分の考えに基づいてよりよい生活を徐々に作り上げる。それには多くの切れ目のない社会の支援体制が必要なのです。

これまで退園式では、在園生と共にアーチを組んで万



「新しい春に」

盛岡みたけ支援学校

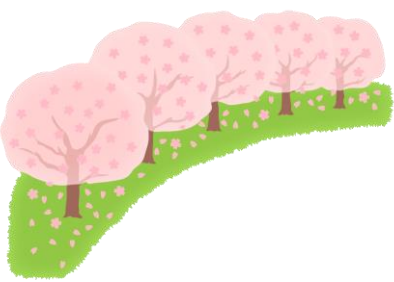
副校長 藤原 有紀

3月、この3年間毎日、みちのく・みどり学園から盛岡みたけ支援学校高等部に元気に通ってきた川辺愛斗さんが卒業を迎えました。2年生の頃は挨拶が控えめでしたが、3年生で生徒会長になつてからは、声も力強く時折見せる笑顔がとても印象に残っています。

これまでも多くの学園生が本校で学び、旅立ち、そして新しく入学してきました。昨年4月に入学した千葉美幸さんはこの春で2年生へ進級し、先輩になることを楽しみにしています。

高等部を卒業すると、学校を離れ社会へと移行してきます。私は令和2年度より

本校に勤めています。学園生は学校卒業と同時に学園も卒業することになるため、働く場の他に生活の場を新しく決めていく姿を間近で見ることができました。その道は簡単ではなく、一回では決まらず何度もチャレンジしながら自分に合う会



社、働きながら生活できる場所を見つけています。会社の面接試験にあたり愛斗さんと最後に練習した時には、よく考えながら自分のことばで全て答え、自分で生きていくとする意志と覚悟を感じました。

愛斗さんをはじめ、みちのく・みどり学園生のみなさんは職員の方たちに支えられ、仲間と喜びや困難を共に助け合い頑張ってきたことと

思います。頑張りが多ければ多いほど羽ばたく力も大きくなります。一日一日成長しながらみなさんが新しい明日に大きく羽ばたいていくことを心より願っています。



心鐘

「先生明日夕方学園にお邪魔していいですか」と聞き覚えのある声で退園生から連絡があった。

約束通り待っていると制服を着た娘さん（らしき人）と一緒に玄関にいた。

「おお、セイショウ君」と声を大きくし部屋に二人を通した。「先生に娘を見せたくて来ました！」と北上銘菓を差し出した。

「先生のお陰で高校（聴覚支援）を卒業できました。就職も娘の希望通り決まりました」と、話す父親の口元を必死に追い、微笑む。

この子が聴覚に障がいをもって生まれ、小学校の入学先を私に相談したら、私は「お前の入院生活はどうだった。それが今の自分に活かしているのであれば親元を離れての寮生活も良いと思うよ」と話したとのこと。以来12年間の寮生活。彼の両親（専業農家）も自分の時のように親身にお世話してくれたとのこと。

彼は61歳。ささくれた手の平を見せてくれた。素直に育った娘の成長が彼への最高のご褒美となった

沢山支援してくれて
ありがとう。
16年間ありがとう
ございました。
高3A・K

今までみんなお世話になり
ました。
今までありがとう。
高3A・M

みちのく・みどり学園

退園おめでとう!
SOZAI GOOD
退園生、職員メッセージ

1年間ありがとうございました。
また、会いにきます。
小4R・O

今までお世話になりました。
これから自立に向けて
頑張っていきたいと思っ
ています。ありがとうございました。
中3R・T

学園生活最後の1年を、若竹ホームで
過ごし、みんなの見本となってくれま
した。これからも、在園生の見本とな
る社会人になることを期待していま
す。おめでとう 養育部長 伊藤将

退園おめでとう。
次の場所でも自分らしく
輝けることを
心から願っています。
児童指導員 福田靖之

体調に気を付けて、自
分のやることが出来る
素敵な大人になってく
ださい
保育士 福士真知子

退園おめでとうございます。沢山の
笑顔と手紙をありがとう。ずっと応
援しています。
児童指導員 山根智恵子

新しい環境に慣れるま
で大変だと思うけど、
大丈夫、自分を信じ
て! 応援してます。
児童指導員 笹原裕樹



紆余曲折ありましたが実
に頑張った3年5ヶ月で
した。この先もずっと応
援してるよ。心理療法士
立花優美子

まさか退園までこ
ぎつけられるとは思
ってなかった。お世
話になりました。今
後ともよろしくで
す。(Y.S)

いとりわわ学園

約一年と半年お世話に
なりました。この学園
で学んだ事を活かして
次の学園でも頑張りたい
です。またどこか
会いましょう (K.C)

Yさん、退園おめで
と。これから大人として
頑張るね。応援してい
ます。保育士 千葉奈着

毎日登校できるようにな
った、家での過ごし方も練習
している。これからが本
番! 心理療法士 坂木晴穂

一年間大変お世話になりまし
た。退園してからも頑張って
いきたいと思ひます。今まで
本当にありがとうございました。
(T.I)

入所の頃は色々やらかした
けど、皆さんのおかげで卒
業できました。ありがとう
ございました。(Y.T)

編集後記
今年も残り僅かとなりまし
た。コロナウイルスが、収束し
ない中ですが、皆さんで頑張
っていきましょう。
水本 裕美

何度か雪が降り朝晩は冷え、
昼間の日差しと空の青さでよう
やく春になるのだと信じられる
ようになってきた。ここを去っ
てきた、ここを去りゆく私を冬
が留めようとするかのようだ。
子どもたちとのこれまでを思い
返すといういろいろな時間の過
ぎ方をしていたように思う。や
り直したくてここに戻ってきた
子。無我夢中で毎日一生懸命過
ごした子、少しずつ日々着実に
学びを積み重ねた子、正直なと
ころ自分の置かれた現実から逃
げたかったのだろうと思う子も
いた。それは必要な時間だっ
たと思う。なんだかんだ言っ
ても、みんな笑っていたのだか
ら。子どもたちも、支援者も、
ここで過ごす時間がそれだけ貴
重なものか、気づき実践する人
が増えることで、もっとここは
豊かな場所になって行くことだ
ろう。去りゆくものからエール
を込めて。

いとりわわ